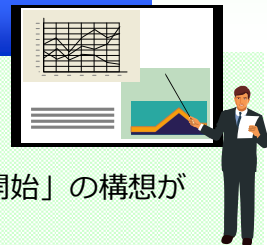


【講演会ご案内】シニア世代の「ハッピー・セカンド・キャリア・プラン」

- ・あなたは「定年後も誰かが助けてくれる」という意識をまず捨てましょう
- ・幸せなセカンド・キャリアの過ごし方を一緒に考えてみませんか
- ・定年延長時代に向けた“自立へのヒント”がわかります



1 社会状況

1. 政府には、年金財源の問題から「定年65歳一律延長化、更には年金支給の70歳開始」の構想があります。
2. 一律雇用延長となれば企業にとって大変な経費負担となり、経営の悪化要因となります。定年世代雇用に対する負担が増えることで若手の採用枠にも影響を及ぼすことから、企業側としては「会社にとって必要なシニア社員だけを選択雇用したい」が本音です。
3. 今後10年～15年以内に定年を迎えるシニア世代（45歳以上と定義）自身も来たる定年延長、年金支給遅延に向け備える必要があります。定年間近になってあわてて定年後の再就職のことを考えて不安になる方が多くいます。準備を始めるに早すぎるということはありません。
4. シニア世代は、「定年後も誰かが助けてくれる」という意識をまず捨てて、自らが「人生のセカンド・ステージ（セカンド・キャリア）を成功させる意識を持つ」ことが重要です。
5. 本講演では、「人生のセカンド・ステージを成功させる」ための「セカンド・キャリア・プラン」について、プロジェクトマネジメントの世界的な標準「PMBOK®ガイド（※）」とキャリア・カウンセリングにおける「キャリア・プランニング・プロセス」とを独自に融合させ、自己の内面にある自分の気づかない特性を認識してどなたも計画が容易に立案できる手法を解説します。
6. クライアント（CL：相談者）が抱えている就職、転職、再就職への課題をPMP、CDAホルダーである講師がプロジェクトマネジメントの視点とCDAの両方の視点、さらに講師が7年間かけて実現したセカンド・キャリア成功へのプロセスについて、実践経験から得たノウハウを紹介します。

（※ 米国PMI®が編纂、PMBOK：A Guide to the Project Management Body of Knowledge）

2 講演概要

講演時間：基本1時間（※アイス・ブレイク、質疑を入れて1～2時間まで調整可能）

1. 本テーマを取り上げた背景
 - 1.1 日本の人口統計推移
 - 1.2 将来の人口と技術者の高齢化
 - 1.3 日本のPMP取得者推移から分かるセカンド・キャリアの実情
2. 個人・会社にとって切実な社会状況
 - 2.1 年金受給開始年の延長と個人としての問題
 - 2.2 定年延長と会社としての問題
3. 来る定年65歳へ向けた準備（※アイス・ブレイク「あなた自身を語ってもらいます」）
 - 3.1 ハッピー・セカンド・キャリアを実現するには何が必要で何から始めるか
 - 3.2 キャリア・マネジメント（キャリア・プランニング・プロセス）の勘所
4. 私のキャリア・プランニング・プロセス
 - 4.1 講演者の7年間のスキルアップ計画立案とその実行 ～定年後でも使えるスキルを磨く～
 - 4.2 苦難を乗り越えて実現できた自分のキャリア形成の第一歩は、「ステークホルダー分析」から
5. まとめと質疑応答



3 講師 伊熊 昭等, Akira Ikuma



- ・ ai (エー・アイ) マネジメント・オフィス 代表/オーナー
- ・ PMP (プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル) : 米国 PMI 認定
- ・ PMI 日本支部認定登録講師(登録第一号)
- ・ CDA (キャリア・ディベロップメント・アドバイザー) : 日本キャリア開発協会認定
- ・ 平塚市市民活動団体「ハッピー・セカンド・キャリア・サポート・グループ」代表

訴求ポイント

- ・ 製品開発から IT システムの技術者、プロジェクトを支援する PMO (プロジェクトマネジメント・オフィス)、研修インストラクターと多業種での豊富な実務経験をもとに知識+実践のきめ細かい指導を行う
- ・ 米国 PMI 認定資格の PMP 資格取得対策講座では合格率 90% 以上、合格者 3,600 名以上を輩出した国内トップの“カリスマ講師”として知られる

経 歴

- ・ 1973年 日立製作所入社、オーディオ部門にてハイファイスピーカーの設計開発に従事
- ・ 1981年 世界初の「CDプレーヤー製品化開発プロジェクト」に従事してデバイス開発を行う
- ・ 1991年～業務用大型映像システムのシステム・エンジニア(SE)として、公共施設の映像情報システムを構築、IT部門に異動後大規模 IT システムのプロジェクト・マネジャーを経験
- ・ 2000年～PMOで大規模プロジェクトの支援業務とプロジェクト・マネジャー育成に従事、PMP資格取得
- ・ 2004年～日立製作所IT系教育専門会社に異動。製品開発系(17年間)、IT系(14年間)の豊富なプロジェクト実務経験とPMOに4年間従事した経験を生かしインストラクター・スペシャリストとして全業種向けプロジェクトマネジメント関連教育取りまとめと研修企画立案、及び自ら講師を行う
- ・ 2011年～マネジメント社取締役エグゼクティブ・コンサルタント
- ・ 2013年～ エー・アイ・マネジメント・オフィス代表、CDA取得 現在に至る

主な研修実績

- ・ 研修専門会社登録講師(NTTデータユニバシティ、工学研究社、FXLI他)、物造り系企業(自動車系製造、技術者派遣会社他)、IT系企業(システムSI、プログラム開発他)、建設プラント系企業向け社外講師
- ・ 広島大学大学院 非常勤講師(H25)
- ・ 九州大学芸術工学研究院・芸術工学部 非常勤講師(H25～)
- ・ 神奈川県立産業技術短期大学 プロジェクトマネジメント研修講師(H27～)
- ・ 慶應大学大学院SDM社会人向け プロジェクトマネジメント研修講師(H27)
- ・ 就実大学(岡山)経営学部プロジェクトマネジメント研修講師(H27～)



主な執筆・所属学会・団体活動

- ・ 「伝説のPM が教える私のいち押しプロジェクト」(2011)
- ・ 「PMPパーフェクトマスター(PMBOKガイド第5版対応)」(2013)
- ・ PMI、PM 学会、日本音響学会(ASJ)、PMI日本支部(組織活性化委員会、教育委員会、ステークホルダー研究会、アジャイルPM研究会)
- ・ 平塚市商工会議所「文化情報サービス部会」

講演のご希望やお問合せ先

●本パンフレットに記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の登録商標もしくは商標です。

平塚市市民活動団体
ハッピー・セカンド・キャリア・サポート・グループ
(HSCSG)

〒254-0061 平塚市御殿2-1-6 aiマネジメント・オフィス内
TEL (080) 5487-5450
FAX (0463) 34-5450
代表：伊熊 E-mail: aikuma@aipmp.com

ai (エー・アイ) マネジメント・オフィス
お問い合わせ窓口

〒254-0061 平塚市御殿2-1-6
TEL (080) 5487-5450
FAX (0463) 34-5450
URL: <http://www.aipmp.com/>
E-mai: aiminfo@aipmp.com